

自然エネルギー信州ネット 第1回部会づくりワークショップ

1) 開催概要

日 時：平成23年9月29日（木） 13:30～16:30

場 所：長野県職員センター 2階大会議室

出席者：ファシリテータ 傘木宏夫氏（NPO地域づくり工房）

正会員25名、準会員16名、正会員同行者2名、事務局3名

報道関係者2名

計 48名

2) ワークショップの開催趣旨

- ①このワークショップは、ネットにおける部会活動の立ち上げとその骨格づくりを促すために開催する。
- ②今回のワークショップ後にも、有志により、部会活動が組織されていくことを歓迎する。
- ③一人が複数の部会に所属することは可能だが、今回のワークショップでは「主体的」に関わるテーマを選んで参加してほしい。
- ④先行して第2回運営委員会（9/22）で設立を決めた3部会（地域エネルギー開発支援部会／初期投資ゼロによる自然エネルギー事業検討部会／ソーラー年金部会）とは別に、今回のワークショップにより立ち上げていくことを想定している。これらすべての部会の成果は相互にフィードバックされるように運営委員会は適宜情報交流をすすめていく。
- ⑤基本的に、部会活動はネットの会員有志による自発的かつ主体的な取り組みという位置づけであり、独立採算で運営される。ここから、新しいビジネスモデルが生れてくることを期待して、ネット全体としても各部会活動を支え、交流を図るようになる。

3) ワークショップのすすめ方

- ①今回は、最初に大テーマでグループをつくります。
- ②各グループにおいて
 - イ) 各大テーマにおいて取り上げたい小テーマを出し合う。
 - ロ) 各小テーマを具体化する上で必要な研究課題を出し合う。
 - ハ) 各課題を整理しながら、今後の取り組みにおける重点化を議論する。
- ③なお、それぞれのグループ内で、「自発的・主体的」に組織し、実行したい人で別グループをつくれるようであれば、分かれて議論することも可能。

4) ワークショップの流れ

- 13:30 開会
- 13:30～13:40 趣旨説明
- 13:40～14:00 自己紹介ゲーム（自己紹介を兼ねて大テーマによるグループ分け）
- ①北信、東信、中信、南信に分かれ、それぞれの中でまだ話したことのない方名刺交換、ごあいさつ（5分間）
 - ②研究者、行政、事業者、市民に分かれ、それぞれの中でまだ話したことのない方名刺交換、ごあいさつ（5分間）
 - ③「大テーマ」（太陽光、太陽熱、バイオマス、風力、水力、地（中・下）熱、マネジメント、政策・調査）の中で、自分が興味をもっている、関心のあるテーマに分かれ、グループをつくる。
- 14:00～15:00 グループ毎に研究テーマの議論（前半）
- ①黄カードで「小テーマ」を模造紙上に出し合う。
 - ②上記①のカードを整理して分類する。
 - ③上記②の上に、青カードで具体的な「課題」（小テーマを探求していく上で必要な研究課題、やらなければならないこと）、小テーマを具体化するために必要な取り組みを出し合う。
- 15:00～15:15 休憩（各グループのまとめをみて、この間にグループ間を移動することも可能）
- 15:15～16:00 グループ毎に研究テーマの議論（後半）
- ④上記③の青カードの中で、いいなと思ったもの、優先度の高いと思われるものについて、赤い丸いシールを1人3枚ずつの持ち点で貼り付ける。
 - ⑤シール投票数を踏まえて部会での検討課題を議論し、文章化する。それを新しい模造紙にまとめる。
- 16:00～16:20 各グループの検討状況の発表
- 16:20～16:30 まとめ
- 16:30 閉会

4) ワークショップの概要

ワークショップには、約 50 名の方に参加いただき、賑やかな開催となりました。

①趣旨、進め方等の説明

開催にあたり、ファシリテーターを務める傘木宏夫氏から趣旨、進め方について説明がありました(2)～(4)の内容参照)。傘木氏は、自然エネルギー信州ネットにおいて理事でもあります。



②自己紹介ゲーム

趣旨説明の後、自己紹介ゲームを行いました。最初に、県内4地区(北信、東信、中信、南信)に分かれ、その中でまだ話をしたことのない方とごあいさつ、自己紹介を行いました。

次に、研究者、行政、事業者、市民の4グループに分かれ、その中でまだ話をしたことのない方とご挨拶名刺交換、自己紹介を行いました。



③テーマによるグループ分け

参加者同士打ち解けてきたところで、あらかじめ用意されていた8つのテーマ(太陽光、太陽熱、バイオマス、風力、水力、地(中・下)熱、マネジメント、政策・調査)にグループ分けを行いました。参加者は、8つのテーマの中で自分が部会づくりに関わりたいテーマを選び、テーマごとテーブルにつきました。

グループ分けする中で、テーマのうち「風力」は集まらなかったためなくなり、人数の少なかった「太陽熱」と「地(中・下)熱」は合体してグループとなりました。

| テーマ | 人数 |
|---------|----|
| 太陽光 | 8 |
| 太陽熱 | 1 |
| バイオマス | 9 |
| 風力 | 0 |
| 水力 | 8 |
| 地(中・下)熱 | 2 |
| マネジメント | 9 |
| 政策・調査 | 5 |



④グループ毎に研究テーマの議論（前半）

参加者は6つのグループに分かれ、テーマごと議論に入りました。最初に、1人10枚の黄色カードを持ち、テーマについて検討したいこと、やってみようことをそのカードに書きだしました。カードが書けたところで、一人ずつ自己紹介とカードに書いた内容の説明をしながら、模造紙にそのカードを貼っていきました。その中で、近い意見をまとめて貼り付け、模造紙上にいくつかの島を作り分類していきました。

続いて、1人10枚の青いカードを持ち、黄色のカードによるいくつかの分類について、分類された内容ごとに検討課題、研究課題、やらなければならないこと、具体化するために必要な取り組み等を青のカードに書き出しました。そして、青いカードを黄色のカードの分類ごとに貼りながら、意見交換しました。



青いカードが貼れた時点で15分の休憩をはさみました。休憩の間、各テーブルを見て歩いたり、意見を交わしたり、写真を撮るなど、参加者同士行き交いました。

⑤グループ毎に研究テーマの議論（後半）

休憩後、議論後半に入りました。まずは、1人3個の赤い丸いシールを持ち、先ほど貼った青いカードのうち専門部会で重点的に検討すべきと思うカードに赤丸シールを貼るといって、投票を行いました。投票のルールは、「なるべく自分の書いたもの以外に投票する」、「年度単位で考えるとあと半年という限られた時間の中での優先順位も意識して投票する」、「3個とも同じカードに投票してもよい」です。投票のあと、さらに議論を重ねました。



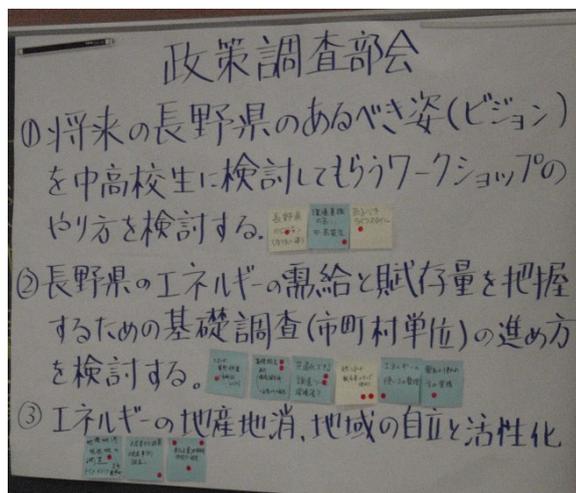
投票が終わったところで、たくさん投票された青いカードの内容について、検討課題を議論し、それを新しい模造紙に書きまとめる文章化を行いました。



⑥各グループの検討状況の発表

模造紙に検討課題がまとまったところで、テーマ部会ごと発表を行いました。1部会3分です。

■政策調査部会

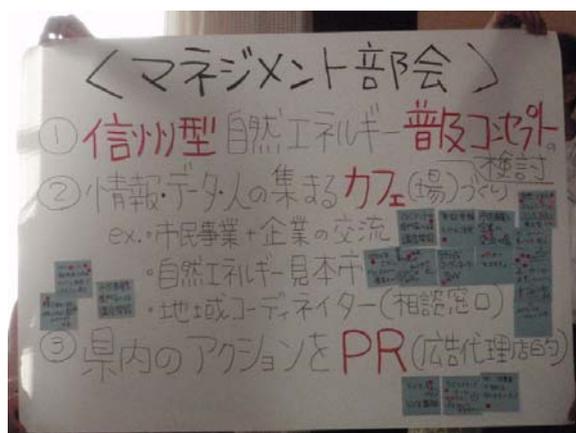


<質疑応答>

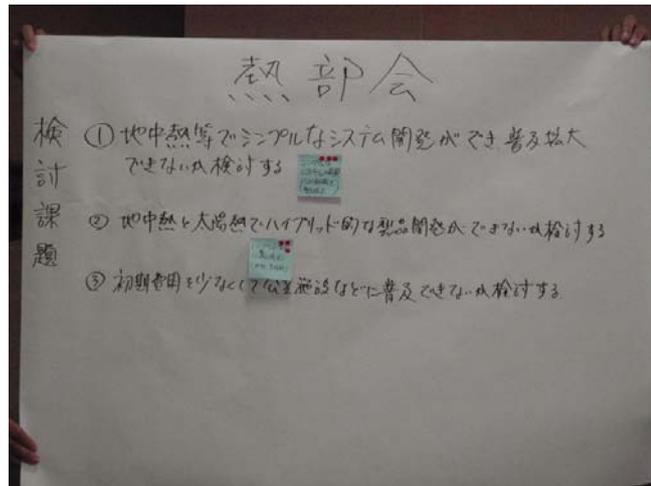
Q. 地域ごとにどんなエネルギーが向いているかを調べたり、地域のポテンシャルを引き出すという取り組みなのか。専門家と現地へ出向くこともあるのか。

A. 進め方を検討する中で、そういった要望があればそれに応えられるよう考えていく。

■マネジメント部会



■熱部会

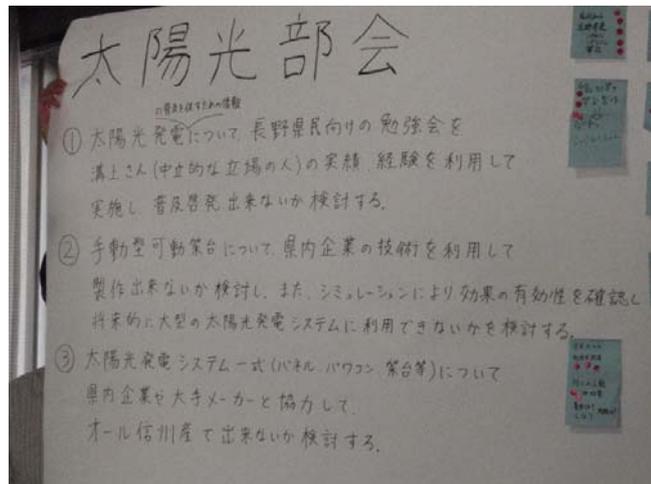


<質疑応答>

Q. 地中熱と太陽熱でのハイブリッド的な開発は技術的に可能なのか。

A. 十分可能である。

■太陽光部会

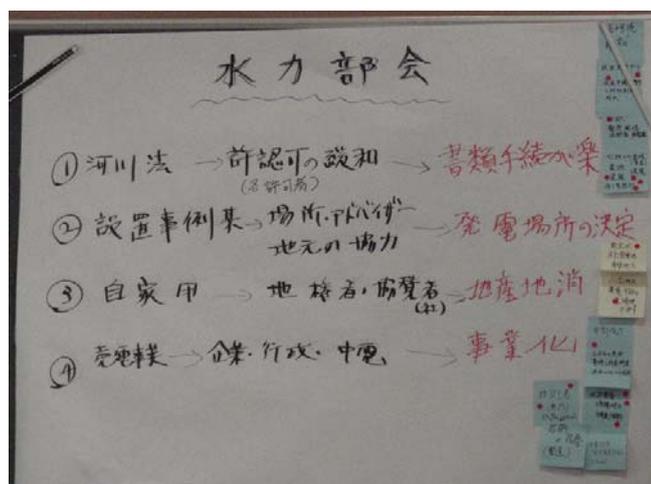


<質疑応答>

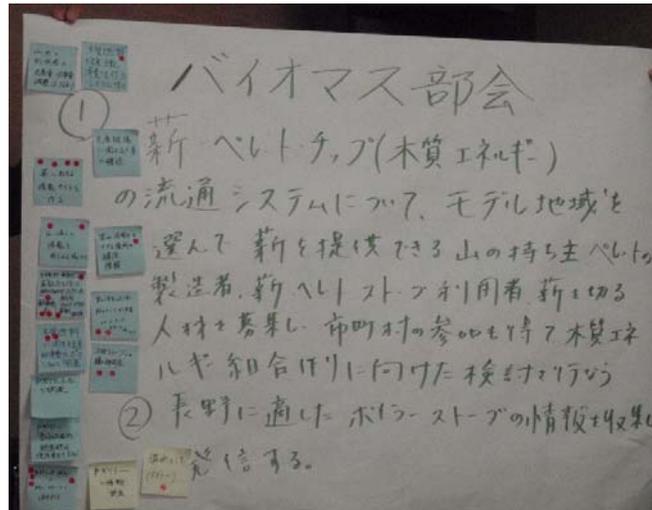
Q. 長野県は、盆地ごとに日照条件が異なることから、地域ごとに諸条件を調査し公表していただけると良いと思う。

A. 重要なことであり、信州ネットを通じて公表していけるとよいと考える。

■水力部会



■バイオマス部会



<質疑応答>

- Q. 木質エネルギー組合はとても良い取り組みだと思う。全県のネットワークを持ち、若手も入り循環する仕組みを作っていっていただきたい。
- A. 全県も念頭におきながら、まずはモデル地域から始めたいと考えている。

⑦まとめ・感想

今回のワークショップを通じて、部会活動のイメージが非常に膨らんだ。実戦部隊、実行部隊として動き出しそうな気配を感じ、非常にうれしく思っている。この結果をとりまとめ、本日出席できなかった方から意見をいただきながら、次回運営会議ではどのように部会を組織化していくか、ルールはどうするかについて固めていきたいと思う。また、ホームページでワークショップの内容を公開し、参加したいという方を募れるような働きかけをしていけるとよい。

今後、各地域でもこのようなワークショップを通じてコミュニケーションを図るなど工夫していけると、信州ネットの活動もふくらみが出てくると思う。参考にさせていただければと思う。(ファシリテーター 傘木氏)

感想1

今日のワークショップに参加し、いい部会ができていく実感が伝わってきた。皆さんに参加いただき、知恵と行動で形にしていく部会である。これからも参加していただきたい。(平島議長)

感想2

ワークショップに参加し、一人ひとりのアイデアが3時間議論することで、ひとつの具体的な事業に集約される過程は大変楽しく、具体的な道筋も見えてきたと思う。今日の議論だけではなく、実際に動かすために皆さんとともに取り組んでいきたいと思う。(中島理事)